

競技注意事項

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては別途新たな注意喚起を求めるため活動などを制限することがある。最新の情報に注意しながら、競技会に参加すること。

1. 競技規則について

本競技会は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則、2022 WA COMPETITION AND TECHNICAL RULES (抗議)、競技会における広告及び展示物に関する規程及び本競技会の申し合わせ事項により実施する。

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 競技を行う時以外は待機時間も含めて、できるだけマスク等を着用すること。
- (2) 招集の際には手指消毒を行うこと。
- (3)トラック競技では、フィニッシュ後の倒れ込みは極力避けること。
- (4) フィールド競技では、試技前に必ず手指の消毒を行うこと。

3. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物規程」により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキングを行う。

アスリートキット

- (1)競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣 [それぞれ]

- ・製造会社名/ロゴ： 一箇所 40cm²まで（高さ5cm）
- ・スポンサー名/ロゴ： 一箇所 40cm²まで（高さ5cm）
- ・所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ：
 - * 学校名/ロゴに関しては、上衣(前後)・下衣 大きさの規制なし

- (2)競技者が着用するその他のキットや衣類（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラスなど）

- ・製造会社名/ロゴ： (一つに) 一箇所 6cm²まで（高さ3cm）
- ・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ： 一箇所 大きさを問わない

個人の所有物およびアクセサリー

(1) タオル バッグ

- ・製造会社名/ロゴ： 一箇所 40cm²まで（高さ5cm）
- ・スポンサー名/ロゴまたは競技者名/個人者ハッシュタグ：二箇所 40cm²まで（高さ5cm）

* バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち一箇所を以下に変更できる

学校名/ロゴ： 一箇所

[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

(2) 飲料ボトル

- ・アスリートスポンサー名/ロゴ： 二箇所 40cm²まで（高さ5cm）

* ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

4. 参加校受付について

参加校受付は、以下の期日、時刻、場所で行う。

アスリートピブス・プログラム・IDカードを配付するので、原則として、代表者が一括で受け取ることにする。

期 日	受付時間	受付場所
9月8日(木)【大会前日】	13時00分～16時00分	競技場正面玄関前
9月9日(金)～9月11日(日)【大会1日目～3日目】	7時15分～閉門時刻	インフォメーション・センター

インフォメーション・センターは、競技場正面玄関前に設置する。開門時刻・閉門時刻については【申し合わせ事項】を参照。

5. 練習について

別紙【練習に関する注意事項】を参照。

6. 各種書類について

大会期間中の各種書類の配付及び提出の窓口については、次のとおりとする。

書 類 名	配付場所・提出先
欠 場 届	テクニカルインフォメーション・センター (TIC) 【招集所 (1500m スタート側ゲート)】
重 複 出 場 届	
リレーオーダー用紙	
質 問 受 付 用 紙	
記 録 証 明 書	インフォメーション・センター【競技場正面玄関前】
第 4 位から第 8 位までの賞状	

7. 招集について

- (1) 招集所は、第 2 コーナー外側 (1500m スタート側ゲート) に設置する。
- (2) 招集は、種目別、組別の招集完了時刻を基準として、**トラック競技は各種目各組の 10 分前から**、棒高跳を除く**フィールド競技は 15 分前から**開始する。それ以前には招集所に入れないので注意すること。招集完了時刻に関してはプログラムの競技日程に記載内容を参照のこと。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場するものとみなす。
- (4) 招集の方法は、次のとおりとする。
 - ① **トラック競技者は**、招集完了時刻までに競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、腰ナンバー標識を受け取り、以下のチェックを終えること。
 - ・アスリートビブスを付けたユニフォームのチェック
 - ・持ち込み衣類、スパイクシューズ、所有物の商標のチェック
 その後、競技役員の指示に従い、スタート地点へ移動する。
 - ② **フィールド競技者は**、招集完了時刻までに競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、以下のチェックを終えること。
 - ・アスリートビブスを付けたユニフォームのチェック
 - ・持ち込み衣類、スパイクシューズ、所有物の商標のチェック
 その後、競技役員の指示に従い、競技実施場所へ移動する。ただし、**棒高跳の招集は現地にて競技者係が行う。**
 - ③ **TR6.3.2 に記載の機器及び通信機能を有する機器(ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、スマートウォッチ)を招集所からミックスゾーンまでの競技場内に持ち込むことはできない。**違反した場合は助力を受けたものとして警告・失格の対象となる。
 - ④ **③に記載の競技に不要な用具を競技場内に持ち込んだ場合は、TIC で保管することがある。**
 - ⑤ **規格外の商標のついた T シャツ等は、雨天の場合を除き、原則として裏返して使用すること。競技場内に持ち込むバッグ、シューズケース等の個人所有のアクセサリについても十分に留意すること。**
 - ⑥ 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ「重複出場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。
 - ⑦ リレー種目に出場するチームは、「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンド(予選、決勝)の第 1 組招集完了時刻の 1 時間前までに、TIC に提出する。「リレーオーダー用紙」は TIC に用意してある。なお、リレーチームの編成については TR24.10 [国内] を適用する。「リレーオーダー用紙」の提出が遅れたチームは、その種目を欠場するものとみなす。

8. 欠場について

やむを得ず本競技会を欠場する場合は、次の要領で「欠場届」を提出する。

- (1) 9 月 7 日(水)までは、日本学連 HP (<https://www.iuau.jp/>) に掲載してある「欠場届」に必要事項を記入し、FAX (03-5304-5569) で提出する。
- (2) 9 月 8 日(木)は、競技場正面玄関前に用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、その場で提出する。やむを得ず、正面玄関において提出できない場合は、FAX (03-5304-5569) で提出する。
- (3) 9 月 9 日(金)以降は、TIC に用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。やむを得ず、TIC に提出できない場合は、FAX (03-5304-5569) で提出する。

9. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、参加校受付の際に 1 名につき 2 枚配付する。
- (2) アスリートビブスは、そのままの大きさと胸と背に確実につける。ただし、跳躍競技に参加する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識 (2 枚) を招集時に配付する。なお、腰ナンバー標識は、レース終了後にトランスポン

ダー付きの腰ナンバー標識のみ回収する。

(4) アスリートビブスの布地及び数字の色は次のとおりとする。

- ① 男子 『黄色地×黒数字』
- ② 女子 『ピンク地×黒数字』
- ③ 5000m、10000m、10000mW 『オレンジ地×黒数字』

※5000m、10000m 及び 10000mW で使用する特別アスリートビブスは、招集開始 1 時間前から TIC にて 1 名につき 2 枚配付する。その際、受付時に配付したアスリートビブスも持参すること。また、招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。

④ 十種競技及び七種競技『オレンジ地×黒数字』

※十種競技及び七種競技では最終種目のみ特別アスリートビブスを配布するので、混成競技係より受け取ること。

10. 用具について

(1) 本大会では、規定の厚さを超えるシューズは使用できない。WA のシューズリストを参照のこと。

※使用可能シューズリスト (URL) : <https://worldathletics.org/about-iaaf/documents/technical-information> 中の MANUALS & GUIDELINES World Athletics Approved Shoe List (as at 日付) を参照

(2) 棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。

(3) その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき競技で、**個人所有の投てき物（日本陸上競技連盟検定済みのもの）の使用を希望する場合には(4)に従い検査を受け使用許可を受けることで個人所有の投てき物の使用を認める。**

(4) 個人所有の投てき物（一人 2 個まで）を使用する場合、競技開始時刻の**1 時間 30 分前から 1 時間 10 分前までに**検査を受ける。検査を経て合格した投てき物に主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがしてはならない。この場合、個人所有の投てき物については一時的に競技場備品としての扱いとし、他の競技者との共用になる。また、返却は当該種目の競技終了後に返却場所にて行う。検査場所及び返却場所については次のとおりとする。

用具	検査場所及び返却場所
砲丸、円盤、やり及びハンマー	北倉庫（100m スタート側用器具庫）

(5) 個人所有の用具の破損に関して、主催者側は一切の責任を負わない。

(6) フィールド競技で使用するすべり止め（炭マグ）は、各競技者が準備する。

11. 競技について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技における招集完了時刻後の練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 短距離種目及びリレー種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。
- ③ 短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
- ④ 5000m、10000m 及び 10000mW は、気象状況により給水を行う。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、給水所にスポンジは設置せず、すべてペットボトルで行う。
- ⑤ 5000m、10000m 及び 10000mW においては、周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。**トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰に着用する。**
- ⑥ 10000mW においては、競歩審判員主任による単独失格権限ルール（TR54.4.1）を適用する。
- ⑦ **10000mW においては、男子は 45 分、女子は 55 分で競技を打ち切る。フィニッシュできなかった競技者はその時点で失格とする。**
- ⑧ 400m 以下の種目及び障害種目は、レース直前の練習前及び練習後、フィニッシュ後に必ず手指の消毒を行うこと。それ以外の種目は、フィニッシュ後に必ず手指の消毒を行うこと。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における招集完了時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 棒高跳の競技場所での練習は、ゴム製パーを用いて行う。

③ 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	2m24	+ 3 cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m81	+ 2 cm
棒高跳	男子	4m70 5m00 5m20	4m80	5m00	5m10	5m20	5m30	5m40	+ 5 cm
	女子	3m30 3m60 3m90	3m50	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	

④ 男子走幅跳は指定された 2 ピットで実施する。TOP8 後の試技は、4 回目開始前に一度のみピットの変更を認める。変更したピットの再変更は認めない。ピットを変更する選手のみ TOP8 の試技開始前に練習跳躍を認める。

⑤ 三段跳の踏切板の位置は、男子 13m、女子 11m とする。

⑥ 投てき競技の競技場内での練習は、1 回につき 60 秒以内とする。

⑦ 投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。

(3) 混成競技について

① 招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技者控室にて待機し、競技役員の指示に従う。

② 混成競技における招集完了時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

③ 混成競技控室として競技場内諸室を使用するので、諸室図を参照のこと。なお、**該当種目の競技者及び競技役員以外の混成競技控室への立ち入りは一切禁止とする。**

④ 跳躍種目は 2 ピットで実施する。

⑤ 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降	
十種 競技	走高跳	低	1m60 1m75	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	+ 3 cm
		高	1m80 1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	
	棒高跳	低	3m40 3m80	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	+ 10 cm
		高	3m80 4m20	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	
七種 競技	走高跳	低	1m35 1m45	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	+ 3 cm
		高	1m45 1m55	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	+ 3 cm

⑥ 天候等の理由により、最初の高さの変更を希望する場合は審判長に申し出ること。

(4) 競技結果と番組編成について

① 各種目の結果の正式発表は大型スクリーンにて行う。

② タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該競技者または代理人による抽選とする。

③ 競技結果等は記録処理終了後、随時、日本学連 HP にて発表する。（大会プログラム表紙の QR コード参照）

PC用サイト <https://www.iuau.jp/>

スマートフォン用サイト <https://www.iuau.jp/sp1/index.html>

(5) その他

競技規則を厳格適用し、QR18.5 及び TR7.2 の適用により警告を 2 回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるので、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

1 1. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時刻は大型スクリーンに発表された時刻を基準とする。競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が TIC に申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が担当総務員を通して Jury に文書で申し出る。

なお、抗議については、TR8.4.1〔国際〕及び TR8.5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。不正スタート及びフィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに該当審判長に申し出ることができる。

1 2. ドーピング・コントロール・テストの実施について

- (1) ドーピング・コントロール・テストは、日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受ける。その際、顔写真付きの本人確認書類が必要となるので、顔写真のついた学生証、運転免許証、写真が鮮明なパスポートコピー等を携帯すること。
- (2) 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例 (TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ (<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<https://www.playtruejapan.org/>) および日本学生陸上競技連合 HP (<https://www.iuau.jp/index.html>) 内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識 2022 年版」を確認すること。

1 3. 対校得点について

- (1) 対校得点は各種目、第 1 位が 8 点、第 2 位が 7 点、第 3 位が 6 点、第 4 位が 5 点、第 5 位が 4 点、第 6 位が 3 点、第 7 位が 2 点及び第 8 位が 1 点とする。なお、同順位により、対校得点を割る場合には小数計算(小数点以下 2 桁まで)を行う。その計算は記録センターで行う。
- (2) 対校得点が同点の場合、優勝種目数の多い方を上位とする。(優勝種目数が同数であれば、第 2 位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様。第 8 位入賞種目数まで同じ場合は、同順位とする。)

1 4. 表彰について

- (1) 総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において対校得点による順位が最上位であった大学には、閉会式にて賞典を授与する。
- (2) 男女各種目において第 1 位に入賞した競技者が最も多かった大学には、閉会式にて賞典を授与する。
- (3) 各種目の第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、メダルと賞状を表彰式にて授与する。競技終了後、速やかにエントランスホール内の表彰対象者待機場所まで集合すること。
- (4) 表彰式の際の服装は、待機場所で配付するプレゼンテーションビブスをつけて、公式 T シャツあるいはジャージを着用し、下は公式ジャージを着用すること。
- (5) 第 4 位から第 8 位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、インフォメーション・センターにて受け取る。
- (6) 総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において対校得点による順位で第 1 位から第 8 位までに入賞した大学には賞状を授与するので、インフォメーション・センターにて受け取る。
- (7) 表彰を受ける競技者に対する記念撮影及び声掛け等は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から行わないこと。
- (8) 表彰対象者は、原則としてマスク等を着用して表彰式で表彰を受けること。ただし、競技役員の指示がある場合にはマスクを外してフォトセッションに応じる。

1 5. その他

- (1) ID コントロールを実施するので、配付した ID カードは常に携帯し、**大学名および氏名を必ず記載すること。当日、検温で配布する検温シールを貼っていないものは無効とする。**
- (2) スタートとフィニッシュの場所が異なるトラック競技では、招集所で配付された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで競技役員が運搬する。
- (3) 競技終了後、必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また、表彰式終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。
- (4) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。なお、大会期間中に競技場内の拾得物として、主催者に届けられた物品等については、一時的にインフォメーション・センターにて保管する。大会終了後は主催者で一時的に保管し、その後処分する。その他の盗難及び紛失に関しては、本連合は一切の責任を負わない。
- (5) **本競技場での競技運営に関する以外での芝生への立ち入りは一切禁止とする。**
- (6) 競技中に発生した傷害及び疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2022 年度公益

社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。なお、インフォメーション・センターにおいて、スポーツ安全保険の事故報告書を配付する。

- (7) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場側の許可なく手配をしない。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含めインフォメーション・センターを通して大会本部に連絡する。
- (8) その他、不明な点に関して大会中はインフォメーション・センターに問い合わせること。